



すずかけ

令和7年2月28日
第15号
校長 鎌田 史顯

心温まる「6年生を送る会」



卒業式まで残り3週間となった2月27日(木)に「6年生を送る会」が開かれました。実行委員の5年生が企画から運営までを行い、1～4年生もプレゼントの準備や呼びかけなどの練習に取り組み、6年生も参加する「全員で作上げた会」になりました。

花のアーチを6年生が通って体育館に入場し、ステージ前のひな壇に並びました。開会のあいさつ後は「大郷小〇×クイズ」です。これまで一緒に活動してきた「縦割り班」ごとにチームをつくって、次々と出される問題に答えました。「大郷小にある教室の数は?」「大郷小にあるトイレの数は?」などの難問で答えが分かれました。次は1～5年生の歌とお別れのメッセージです。歌の間奏に1年生から順に「6年生のカッコいいところ…」「6年生の優しいところ…」「6年生の尊敬するところ…」とメッセージを送りました。間奏後も大きな声で歌い、最後にみんなで「ありがとうございました」と感謝を伝えました。

次は学年ごとに準備したプレゼントの贈呈です。各学年が6年生の前に立ち、思い出や感謝の言葉を伝えた後で、手作りプレゼントを手渡しました。メダル・お手紙・メッセージカード・お守り・花束など、一生懸命に作った心のこもったものばかりでした。受け取った6年生はメダルを首にかけ、プレゼントを両手いっぱい大事そうに持っていました。6年生からもお返しのプレゼントがありました。

さらに、6年生からは歌とメッセージが下級生に贈られました。卒業を目前にした6年生はとても大人に見えましたし、「あとは任せたぞ!」「自分たちも精一杯がんばるから、みんなもがんばって!」という熱い思いがこもった歌とメッセージでした。下級生の中には涙を流す子供もいるほど感動的でした。

体育館中に「ありがとう」「感謝」の装飾があり、歌やメッセージに何度も「ありがとう」の言葉がありました。「ありがとう」の語源は「あり難い」であり、「そうあることが難しい状況」とされ、反対語は「あたり前」と言われています。「6年生

が登校班では先頭を歩いてくれた」「清掃班の班長として掃除を教えてくれた」「宿泊学習でいろいろなことを教えてくれた」など、これまでの「あたり前」は、本当は「ありがたいこと」なのです。現在の176名での学校生活も残りわずかであるので、1日1日、1秒1秒を大切に生活しましょう。



令和 7 年度の大郷小学校について

今、学校には「近未来の大きな変化に対応できる力の育成」「AI や IoT が普及する時代を生き抜く力の育成」「ICT 活用能力の育成」「教え込み授業からの脱却」「いじめ・不登校への対応」「教員の働き方改革」などの課題が山積しており、山形県は「学力の向上」が優先課題の一つとなっています。

もちろん、どれも大切なことではありますが、「学校が楽しい」「学校に行きたい」「学校は自分のためになるところ」と実感し、「わからないからつまらない」という児童をできる限り減らすべきです。「学校づくりの土台は授業改善」との基本的な考えから、今年度、大郷小では「子供たちが学校の諸活動に主体的に取り組めること」を大きなテーマとして取り組んできました。「わかった・できた」と授業の中で感じるのが、「もっと知りたい」「もっと調べたい」「もっとできるようになりたい」という次の学習への意欲を喚起し、学ぶ楽しさや自分の成長の喜びへとつながって欲しいという考えからです。

次年度の校内研究のテーマは「自ら学びに向かう子どもの育成」とし、さらに子供たちが学ぶことに価値を見出し、仲間と共に学び合い高め合う授業づくりを進めていきます。

12月18日に、今年度の「大郷地区民生委員・児童委員情報交換会」があり、委員の皆様にご来校いただきました。授業参観後にいただいたご意見の中に、「格段に授業がよくなっている」「子供たちが集中しており、授業に臨む姿がすばらしい」「どうするとこんなに変わるのか教えて欲しい」という本当にうれしく、涙が出そうになるようなお言葉を頂戴しました。もし、少しずつでも成果となっていればこの上ない喜びですが、まだまだ取り組みは始まったばかりです。教職員も「成果を実感する」よりも、「どうすればそうできるのか」を模索している途中であり、子供たち、保護者の皆様、地域の皆様と一緒にこの取り組みを進めていきたいと考えています。

また、次年度から、七中学区の4校で「9か年かけて育てる力」「七中学区の子供が自慢できる力」の育成と、「小中のスムーズな連携」を目指して、『セブン・プライド』（仮称）を掲げて取り組みを開始する予定です。「学校・家庭・地域でもあいさつができます！」「自分と仲間を大切にします！」「授業に集中し、着実な努力をします！」「ルールやマナーを守ります！」「交通ルールを守ります！」「好き嫌いをなくし、健康で元気に生活します！」「自分の成長を支えてくれる人や物に感謝の気持ちを持ちます！」を現在考えています。

次年度にむけて

(1) 児童の登校時刻の変更 8:05～8:15

【理由】・教職員の勤務開始時刻と児童の登校時刻を合わせるため

・通学に1時間以上を要する児童とご家庭の負担軽減のため

(2) 全校縦割り宿泊学習 ⇒ 学区内オリエンテーリングへの切り替え

【理由】・全校での宿泊学習は学ぶところは多いものの、個々の児童への負担が大き過ぎるため

・地域を知り、地域の誇れるものを学び、地域愛を育む学習活動の意義が大きいから

(3) 体育館の改修工事（現在のところ 夏～冬の期間）

・体育館天井吹き付け ・天井水銀灯をLED化 ・ステージ蛍光灯をLED化
・体育館壁面の穴や破れ等の補修

【代替施設】山形市児童遊戯施設「べにっこひろば」体育館を借用し、市バスで輸送

※べにっこひろばは、本校の避難場所に設定されている